

見ぬま田んぼ

野草スケッチ「タケニグサ」竹似草

分類：ケシ科タケニグサ属

花言葉：素直 隠れた悪



2011.7.30 東浦和八丁目

道端や荒地などに生育し高さ1～2m位になり、春から成長し他の野草より背が高くひと際目立つ植物です。茎を折ると黄色い乳液が出てきて手に着いた汁は黄色く染めます。この乳液は有毒とのこと。夏場のこの草の様子は全体に団扇状の歯が重なり、上部は茎が竹のように伸び先端に白い小花が咲きます。



「タケニグサ」

世界：	東アジア、中国大陸、台湾一帯、日本原産種
生育地：	本州以南の日本各地
茎 丈：	1500 - 2500mm 茎は中空
葉	菊に似た形 10～30cm
花期：	6～8月
花・花色：	花柄を持つ花は夏に開花を始めるが花弁はなく、開花当初は白色で、薄黄褐色から褐色になり、夕方に分離落下をする一日花
種子：果実	2～3センチの果実
特徴：	多年生、薬としても利用できる乳液で皮膚病や水虫によく効き
由来	中空の茎が中空であることや冬枯れの様子が竹や笹に似ること

※ 写真と解説：タケニグサ 花言葉の画像, ikipediaと【竹似草(タケニグサ)のまとめ！】毒性や花言葉等5個...から御借りしました。

2022.10.6